

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付作業前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。また、本書は操作説明書を兼ねておりますので、取付後は必ず本書を施主様へお渡しください。

本製品について

- 板金扉・樹脂パネル・木扉に取付け可能な機械式ダイヤル錠です。
- 暗証番号を忘れても、非常解錠キー（別売品）を用いて解錠できます。
- 暗証番号の設定方法を下記の2種類から選ぶことができます。

パブリック仕様 (番号自由設定タイプ)

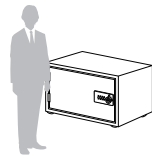
ジムのロッカーなど不特定多数の人が、1度きりの暗証番号を設定して施錠します。



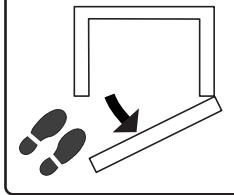
※工場出荷時はこの設定です

プライベート仕様 (番号固定設定タイプ)

オフィスのキャビネットなど限られた人が、一定の暗証番号を使用して解錠します。



イラストは右吊元です



正しく安全に使用していただくために

図記号の意味



警告
注意



禁止



厳守



注意

軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。



非常解錠キー（別売品）は、悪用されることがないように管理してください。



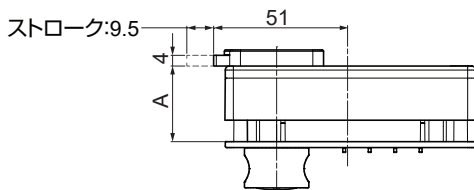
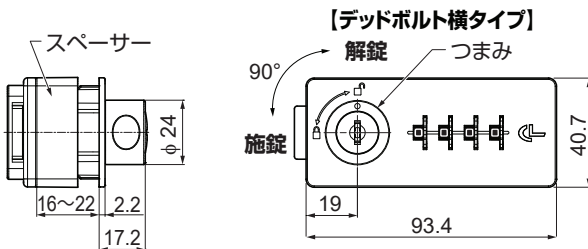
非常解錠キー（別売品）を使用して解錠する場合、非常解錠キーは必ず施錠状態で抜いてください。解錠状態でキーを抜くとつまみが動かなくなります。

取り付けできる扉

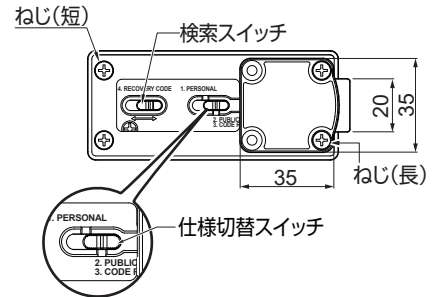
板金板	扉厚	0.6 ~ 8 mm
樹脂パネル	扉厚	3 ~ 10 mm
木扉	扉厚	16 ~ 24 mm

寸法図

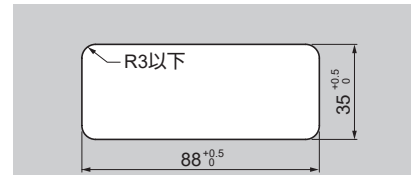
図は右吊元用で、板金用スペーサーを使用した場合を示します。左吊元用は、つまみやスイッチの配置およびキーを回す方向が逆になります。



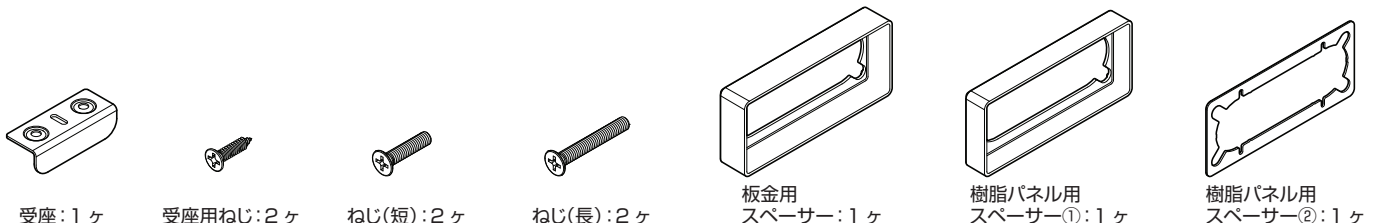
扉	扉厚	スペーサー	A 寸法
板金	0.6 ~ 8 mm	板金用	扉厚 + 20.2
樹脂パネル	3 ~ 10 mm	樹脂パネル用①②	扉厚 + 16.7
木	16 ~ 24 mm	なし	扉厚 + 4.5



取付穴加工図

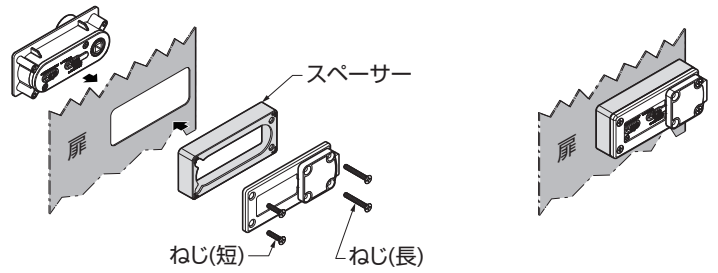
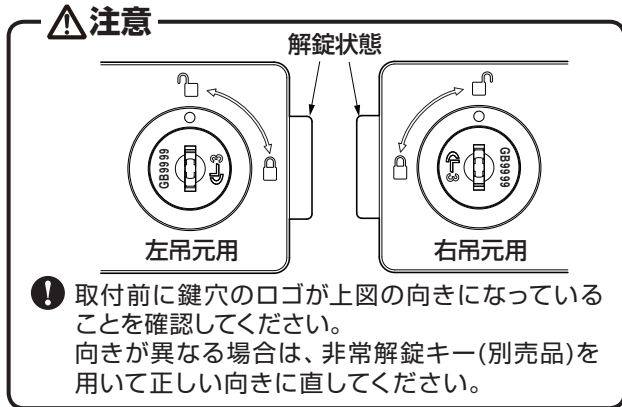


付属品



取付手順

ここでは右吊元用の板金扉への取付けを例に説明しています。木扉の場合、スペーサーは不要です。
左吊元用は、つまみやスイッチの配置が逆になります。



❶ 本体を分解し、扉裏側からスペーサー、固定プレートを取り付ける。

❷ 取付後の状態

パブリック仕様 (番号自由設定タイプ) とプライベート仕様 (番号固定設定タイプ)

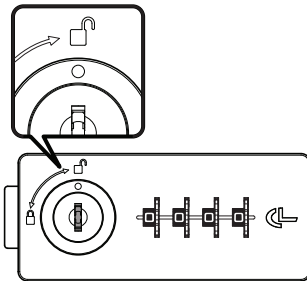
ここでは右吊元用の錠を例に説明しています。左吊元用は、つまみやスイッチの配置およびキーを回す方向が逆になります。

1 仕様の説明

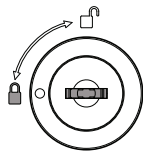
- ・本製品は、工場出荷時にパブリック仕様に設定されています。
- ・パブリック仕様とは、不特定多数の人が、1度きりの暗証番号を設定して施錠する仕様です。
- ・プライベート仕様とは、限られた人が、一定の暗証番号を使用して解錠する仕様です。

2 仕様の切替方法

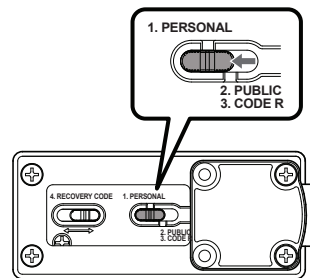
【1】パブリック仕様からプライベート仕様へ



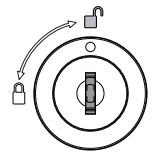
〈1〉つまみを に合わせ、ダイヤルを設定したい暗証番号に合わせる。



〈2〉つまみを に合わせる。

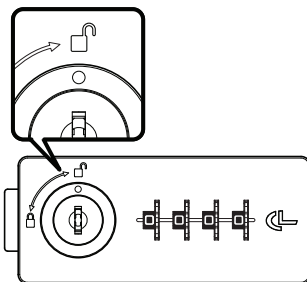


〈3〉本体裏側の仕様切替スイッチを **PERSONAL** に変える。

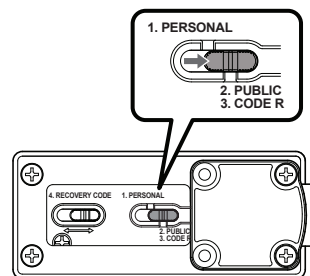


〈4〉つまみを に合わせる。

【2】プライベート仕様からパブリック仕様へ



〈1〉つまみを に合わせる
(ダイヤルはプライベート仕様で設定した暗証番号に合わせておく)

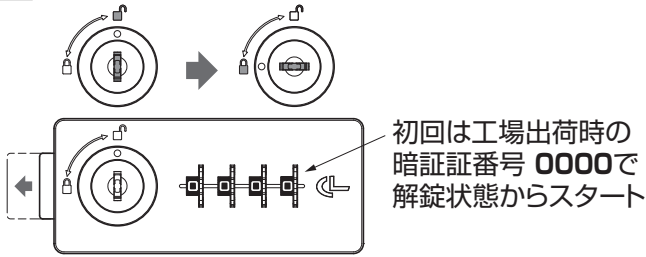




〈2〉本体裏側の仕様切替スイッチを **PUBLIC** に変える。

パブリック仕様における操作

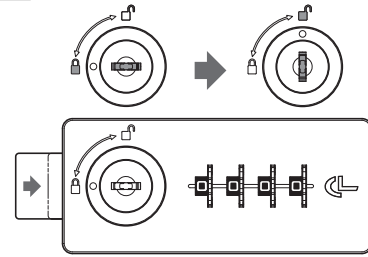
パブリック仕様とは、不特定多数の人が、1度きりの暗証番号を設定して施錠する仕様です。
ここでは右吊元用の錠を例に説明しています。左吊元用は、つまみやスイッチの配置およびキーを回す方向が逆になります。


1 施錠方法



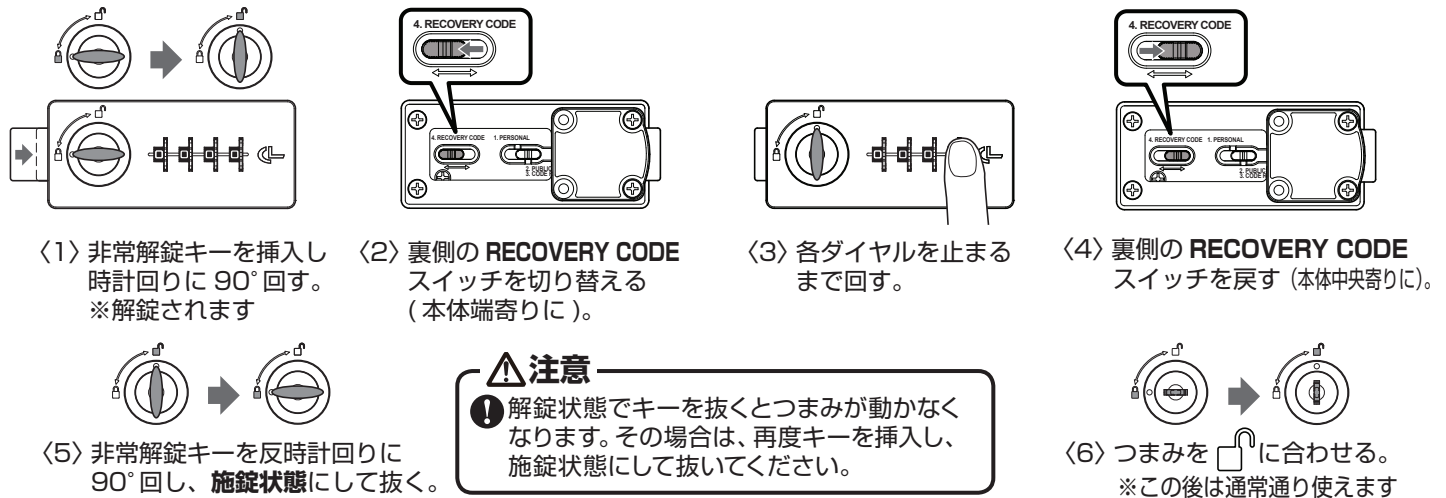
- 〈1〉つまみを  に合わせ、ダイヤルを設定したい暗証番号に合わせる。
- 〈2〉つまみを  に合わせる。
- 〈3〉ダイヤルをランダムに回しておく。

2 解錠方法



- 〈1〉ダイヤルを設定した暗証番号に合わせる。
- 〈2〉つまみを  に合わせる。

3 暗証番号を忘れてしまった場合の解錠と復旧手順

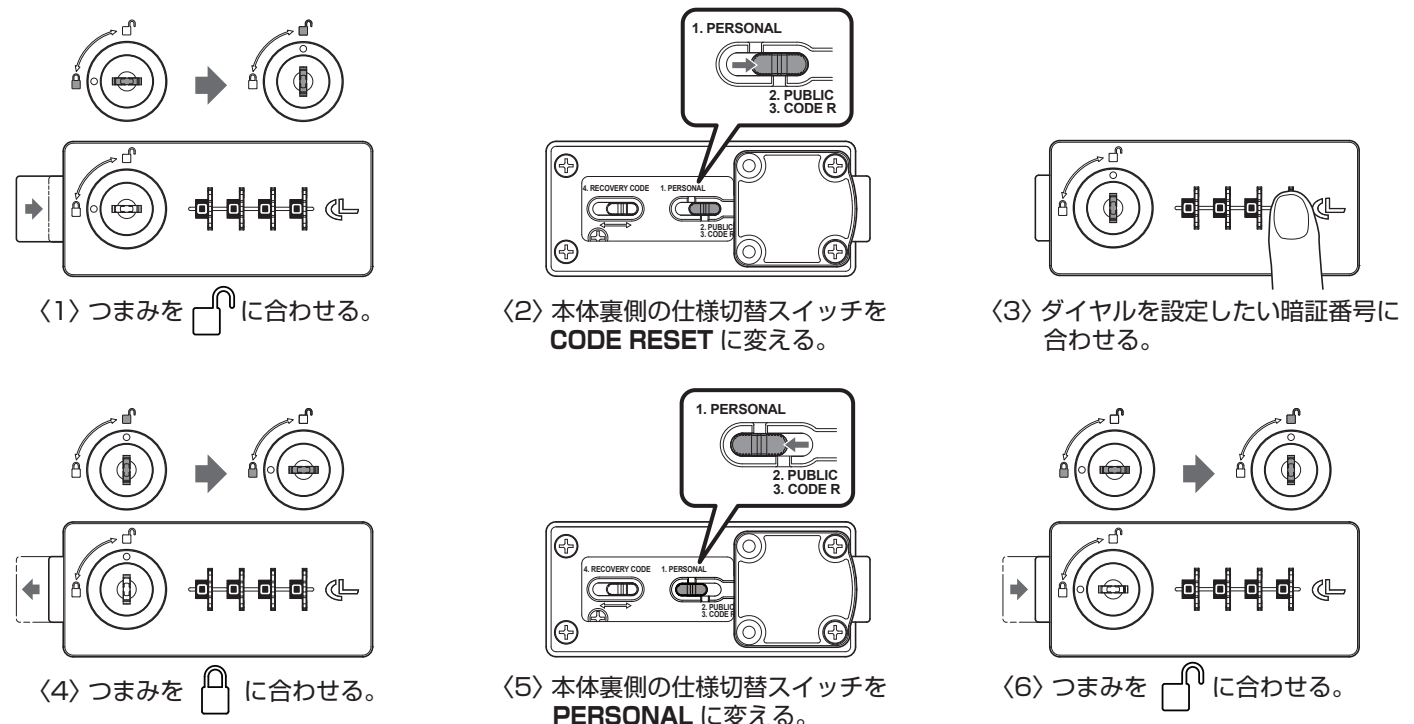


注意
 解錠状態でキーを抜くとつまみが動かなくなります。その場合は、再度キーを挿入し、施錠状態にして抜いてください。

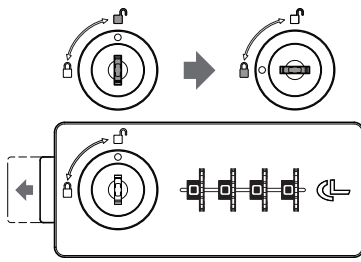
プライベート仕様における操作


プライベート仕様とは、限られた人が、一定の暗証番号を使用して解錠する仕様です。
ここでは右吊元用の錠を例に説明しています。左吊元用は、つまみやスイッチの配置およびキーを回す方向が逆になります。

1 暗証番号の変更方法（工場出荷時は 0000 です。）

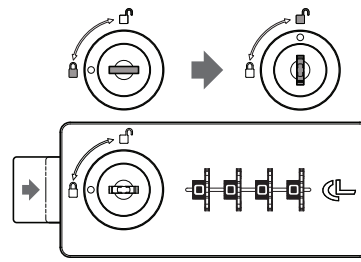



2 施錠方法



- 〈1〉ダイヤルを暗証番号に合わせる。
- 〈2〉つまみを  に合わせる。
- 〈3〉ダイヤルをランダムに回しておく。

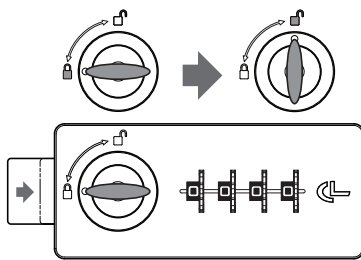
3 解錠方法



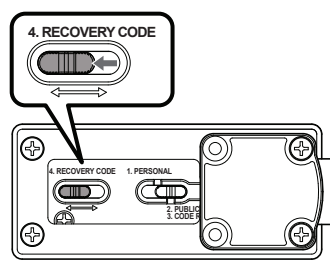
- 〈1〉ダイヤルを設定した暗証番号に合わせる。
- 〈2〉つまみを  に合わせる。

4 暗証番号を忘れてしまった場合の解錠と暗証番号の検索（施錠状態から）

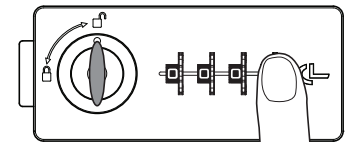
ここでは右吊元用の錠を例に説明しています。左吊元用は、つまみやスイッチの配置およびキーを回す方向が逆になります。



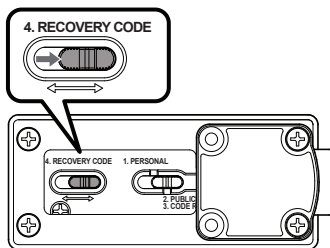
- 〈1〉非常解錠キーを挿入し、時計回りに 90° 回す。
※解錠されます



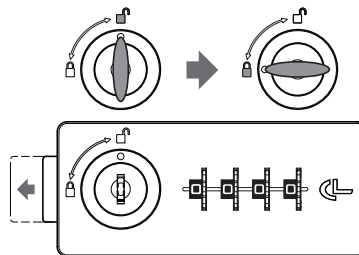
- 〈2〉裏側の RECOVERY CODE スイッチを切り替える (本体端寄りに)。



- 〈3〉各ダイヤルを止まるまで回す。



- 〈4〉裏側の RECOVERY CODE スイッチを戻す (本体中央寄りに)。

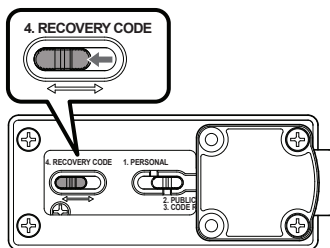


- 〈5〉非常解錠キーを反時計回りに、90° 回し、**施錠状態**にして抜く。
※この後は通常通り使えます

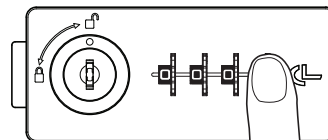
⚠ 注意

- ❗ 解錠状態でキーを抜くとつまみが動かなくなります。その場合は、再度キーを挿入し、施錠状態にして抜いてください。

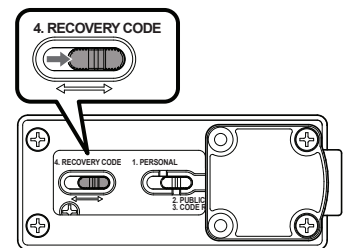
5 暗証番号を忘れてしまった場合の暗証番号の検索（解錠状態から）



- 〈1〉RECOVERY CODE スイッチを切替える (本体端寄りに)。



- 〈2〉各ダイヤルを止まるところまで回す。



- 〈3〉RECOVERY CODE スイッチを戻す (本体中央寄りに)。
※この後は通常通り使えます

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

電話番号 03 (3864) 1122

受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001: 物流 WEST を除く、国内拠点 ※ISO14001: 千葉工場および物流センター (SBC)
<https://www.sugatsune.co.jp/> 2020.10 1183-7